

## 長岡天満宮と歴史ロマンの城を訪ねて

<p>1. <b>勝龍寺城跡</b> (勝竜寺城公園)</p>	<p>元亀2年(1571)に織田信長の意向を受け、細川藤孝が勝龍寺城の大規模な改修を行い、安土城よりも先に「瓦・石垣・礎石建物(天主)」が確認できる最初期の城と考えられています。</p> <p>天正6年(1578)藤孝の子息、忠興と明智光秀の娘、玉(細川ガラシャ)の婚礼が執り行われました。また、天正10年(1582)には山崎合戦で羽柴秀吉に敗れた明智光秀がここへ退却し、北門から落ち延びた「光秀最期の城」とも言われています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>2. <b>勝龍寺</b></p>	<p>大同元年(806)空海(弘法大師)の開基と伝わります。</p> <p>寺号は恵解山青龍寺で、観音堂を始め九十九坊が建てられたといわれています。</p> <p>大干ばつ大飢饉の年に千観上人の祈とうで雨が降り、龍神に勝ったという意味から勝龍寺と改名されました。</p> <p>本尊は、鎌倉時代の十一面観音菩薩立像(国指定の重要文化財)でぼけ封じの霊場でもあります。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>3. <b>恵解山古墳</b> (いげのやまこふん)</p>	<p>5世紀中ごろに造られたと推定される前方後円墳。国指定史跡で全長約128mで周囲に幅約30mの周壕が造られています。前方部からは鉄の刀剣や鍬など約700点が発見されました。京都盆地で3番目の規模を誇る巨大な古墳です。</p> <p>近年の発掘で、火縄銃の銃弾や曲輪(くるわ)状に削られた跡が発見され、山崎の合戦では光秀が本陣を築いたのではないかとされています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>4. <b>長岡天満宮</b></p>	<p>学問の神様・菅原道真公が大宰府に左遷されるとき名残を惜しんだ地として知られ、道真公を祭神としてまつっています。</p> <p>広大な境内には1638年に八条宮智忠親王によってつくられた八条ヶ池が広がり、春は桜や樹齢約170年の真っ赤なキリシマツツジが見ごろです。</p> <p>また、夏はハスや菖蒲、カキツバタなどの水生植物が見ごろを迎えます。</p> <p>歴史を守りながら、市民をはじめ多くの人々に愛されています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>